

先端科学移動大学講演

11月10日（金）に1年次生徒を対象に「先端科学移動大学講演」を実施しました。講師に北海道大学大学院工学研究院 永田 晴紀 教授をお招きし、『ロケット実験を小型化したい』というテーマでご講演をいただきました。

この事業は北海道青少年科学文化財団のご協力を得て、最先端の科学に触れることをとおして、生徒自身に科学への興味関心を抱いてもらうことを目的に行っています。

講演では、宇宙開発がかつての米ソ対立の中で進んだ経緯や、世界中の頭脳を集めるために行われた国家的プロジェクトであることなどを、専門用語を交えながらも分かりやすく説明していただきました。

また、小型ロケットの開発については、実際の映像を交えながら、ロケットの発射成功のために何度も失敗を繰り返しながら実験を行っていると話されました。

講演を聞いた生徒からは「世界における日本の宇宙開発の位置づけ」や「宇宙エレベータの実現可能性」についての質問が出ました。



最後に、「勉強をしっかりと欲しい。例えば、数学を勉強するのは数式を覚えるためではなく、数学的な考え方を学ぶためなのです。」と貴重なアドバイスもいただきました。

改めて、宇宙開発やロケットについての理解と関心を深める有意義な時間となりました。